

「今、蘇る寺田寅彦－天災は忘れた頃に－」

講師：池内 了

プロフィール

兵庫県姫路市生まれ。

研究テーマは、宇宙の進化、銀河の形成と進化、星間物質の大局構造など。現在は、科学・技術・社会論に傾注。新しい博物学を提唱。科学エッセイや科学時事を新聞や雑誌に執筆している。

「お父さんが話してくれた宇宙の歴史」（岩波書店）で、第 13 回（1993 年度）日本科学読物賞、産経児童出版文化賞（JR 賞）を受賞。「科学の考え方・学び方」（岩波ジュニア新書）で、第 13 回（1997 年度）講談社出版文化賞（科学部門）、産経児童出版文化賞（推薦）を受賞。2000 年からの一連の著作物に対して、関科学技術振興財団より第 6 回（2008 年度）パピルス賞を受賞。

1967 年：京都大学理学部物理学科卒業

1972 年：京都大学大学院理学研究科物理学第二専攻博士課程単位取得満期退学

1972 年：京都大学理学部助手

1975 年：京都大学理学博士 「銀河の構造と進化：ガス、星の存在比に着目して」

1977 年：北海道大学理学部助教授

1984 年：東京大学東京天文台助教授

1988 年：国立天文台理論天文学研究系教授

1992 年：大阪大学理学部宇宙地球科学科教授

1995 年：大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻教授

1997 年：名古屋大学大学院理学研究科教授

2005 年 5 月：名古屋大学名誉教授

2005 年：早稲田大学国際教養学部教授

2006 年：総合研究大学院大学先導科学研究科教授・学長補佐

2008 年：総合研究大学院大学先導科学研究科教授・理事

<著 書>

『宇宙の歴史』（岩波書店 2012 年）

『科学の限界』（ちくま新書 2012 年）

『生きのびるための科学』（晶文社 2012 年）

『科学と人間の不協和音』（角川 one テーマ 21 2012 年）

裏面に続く

『観測的宇宙論への招待 宇宙はいかに解明されてきたか』(日経 BP 社 2011 年)
『パラドックスの悪魔』(講談社 2010 年)
『娘と話す 宇宙ってなに?』(現代企画室 2009 年)
『科学の落とし穴—ウソではないがホントでもない—』(晶文社 2009 年)
『ノーベル賞で語る現代物理学』(新書館 2008 年)
『時間とは何か』(講談社 2008 年)
『自然を解剖する』(NTT 出版 2008 年)
『疑似科学入門』(岩波新書 2008 年)
『宇宙論のすべて 増補新版』(新書館 2007 年)
『科学者心得帖—科学者の三つの責任とは—』(みすず書房 2007 年)
『懐手して宇宙見物 (寺田寅彦エッセイ)』(みすず書房 2006 年)
『禁断の科学』(晶文社 2006 年)
『転換期の科学を読む辞典』(みすず書房 2006 年)
『ゆっくり、時間を長く ソフトランディングの科学』(七つ森書館 2006 年)
『寺田寅彦と現代—等身大の科学をもとめて—』(みすず書房 2005 年)
『娘と話す 科学ってなに?』(現代企画室 2005 年)
『考えてみれば不思議なこと』(晶文社 2004 年)
『科学を読む愉しみ』(洋泉社新書 2003 年)
『物理学と神』(集英社新書 2002 年)
『私のエネルギー論』(文春新書 2000 年)
『天文学者の虫眼鏡』(文春新書 1999 年)(祥伝社黄金文庫 2012 年)
『宇宙論のすべて』(新書館 1998 年)
『観測的宇宙論』(東京大学出版会 1997 年)
『宇宙は卵から生まれた』(大修館書店 1997 年)
『宇宙学者が「読む」』(田畑書店 1996 年)
『科学の考え方・学び方』(岩波ジュニア新書 1996 年)
『転回の時代に』(岩波書店 科学ライブラリー 1996 年)
『宇宙をあやつるダークマター』(岩波書店 科学ライブラリー 1993 年)
『現代宇宙論を読む』(北海道大学図書刊行会 1992 年)
『お父さんが話してくれた宇宙の歴史』1~4 (岩波書店 1992 年)(岩波書店 2012 年)
『宇宙からみた自然』(新日本出版社 1991 年)
『現代の宇宙像・銀河・銀河星団はいかに造られたか』(培風館 1991 年)
『激変天体論・ダークマターを否定する』(学習研究社 最新科学論シリーズ 16 1991 年)
『宇宙進化の構図』(大月書店 科学全書 1989 年)
『泡宇宙論』(海鳴社 1988 年)(ハヤカワ文庫 1995 年)
『宇宙のかたちをさぐる』(岩波ジュニア新書 1988 年)
『宇宙の大構造と銀河』(丸善 1988 年)

他